

「長崎ゆかりの作品フェア実施業務委託」にかかる公募型プロポーザルへの質問回答書

令和7年7月3日

番号	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書4(1)	「②書籍の選定」に関して、「フェアのコンセプトにふさわしい作品を選定すること」と記載ありますが、選定した書籍を提案書に盛り込む必要がありますでしょうか。	書籍の選定は、本業務の受託者と協議して決定しますので、企画提案時は書籍名の記載は必要ありません。 ただし、特定のテーマやジャンルに基づいた企画を提案される場合は、参考として想定している書籍を例示してください。
2	仕様書4(1)	「⑤ながさきピース文化祭2025との連携」に関して、「ながさきピース文化祭2025(第40回国民文化祭・第25回全国障害者芸術文化祭)との連携に努めること」と記載がありますが、具体的に連携を想定されているイベントはございますでしょうか。	11月23日(日)に佐世保市のアルカスSASEBOで開催される「読んでみんね!長崎 ビブリオバトル」との連携を想定しています。当該イベントでは、全国大学ビブリオバトルのほかに、本県にまつわる書籍の展示も予定しています。 また、イベントに限らず、広報面においても連携の可能性があると考えております。
3	仕様書4(1)	去年は「描いてみんね!長崎」の作品を題材とした「長崎ゆかりの言の葉展」を開催しておりますが、今年度も選定書籍の中に「描いてみんね!長崎」の作品を含める必要がありますでしょうか。	過去に「描いてみんね!長崎」事業で単行本化された作品については、必ずしも選定書籍に含めていただく必要はありません。 ただし、フェアの開催期間中に当該事業に係る新刊が発売される場合などには、県から受託者に協議をさせていただくことがあります。
4	仕様書4(4)	「本業務の成果指標(目標値)を複数設定し」と記載がありますが、「フェアの来場者や参加者のうち長崎県に行きたいと思った人の割合75%以上」以外で他に想定されている具体的な指標や目標値はございますか。	成果指標については「フェアの来場者や参加者のうち、長崎県に行きたいと思った人の割合75%以上」を必須指標として設定しておりますが、それ以外の成果指標については、フェアの内容、実施場所、広報手法等が提案者によって異なることから、あらかじめ具体的な数値は定めておりません。 ご提案いただく内容に応じて、客観的に効果を把握できる指標(例:SNSインプレッション数〇万件以上、参加者満足度〇%以上、対象書籍の販売・貸出冊数が開催前月比〇%増など)を適切に設定していただくことを想定しています。
5	仕様書4(4)	「フェアの来場者や参加者のうち長崎県に行きたいと思った人の割合75%以上」を成果指標の一つとして指定をされていますが、こちらの数値の裏付けとなる実績等があるのでしょうか。	本業務は、マニアが集う長崎プロジェクト(令和6年度～)の一環として実施するもので、当該プロジェクトにおける成果指標として「長崎県に行きたいと思った人の割合」を設定しております。令和6年度は70%、令和7年度は75%と、段階的に目標値を引き上げております。 なお、令和6年度に同業務において実施したアンケート調査では、80%を超える方から「長崎県に行きたい」との回答がありました。